

# 令和 7 年度 学校教育自己診断結果について

## (1) 回収数

【生徒】 736 名

【保護者】 519 名

【教員】 43 名

## (2) アンケート項目一覧（集計結果をご覧ください）

## (3) 各資料について

昨年比： 昨年との増減を矢印で表しています。

|            |            |           |
|------------|------------|-----------|
| ↑ 10%以上 増加 | ↗ 5～10% 増加 | ↗ 3～5% 増加 |
| ↓ 10%以上 減少 | ↘ 5～10% 減少 | ↘ 3～5% 減少 |

## (4) 生徒アンケート結果から

平均肯定率：87.3%（24 設問、回答 736）

高数値（R7 肯定率 上位）

- 1.人権について学ぶ機会がある … 96.8%（質問 19）
- 2.学校行事は楽しく充実している … 96.0%（質問 15）
- 3.部活動への参加は積極的 … 95.9%（質問 16）
- 4.個人情報を守られている … 95.7%（質問 20）
- 5.命の大切さや社会のルールを学ぶ機会 … 94.7%（質問 18）

改善（前年比 + 上位）

- ・部活動への参加は積極的 … +1.2pt（質問 16）
- ・学校行事は楽しく充実 … +1.0pt（質問 15）

※上記以外は横ばい～微減が多く、プラス幅が小さい傾向です。

要改善（前年比 - 下位）

- ・授業はわかりやすい … -6.0pt（質問 3）
- ・先生の指導は適切 … -4.9pt（質問 2）
- ・学校へ行くのが楽しい … -3.7pt（質問 1）

(5) 保護者アンケート結果から

平均肯定率：88.0%（20 設問、回答 519）

高数値（R7 肯定率 上位）

- 1.評価はテスト以外（提出物・出席等）も含む … 96.8%（質問 8）
- 2.個人情報を守っている … 96.2%（質問 15）
- 3.行事は積極参加できるよう工夫 … 95.5%（質問 11）
- 4.子どもと話す機会がある（家庭内） … 94.4%（質問 17）
- 5.文書・事務連絡は適切 … 93.3%（質問 18）

改善（前年比 + 上位）

- ・災害時の行動マニュアルの周知 … +9.9pt（質問 13）
- ・教育情報の提供努力 … +5.9pt（質問 14）
- ・いじめへの真剣な対応 … +5.7pt（質問 6）

要改善（前年比 - 下位）

- ・文書・事務連絡の適切さ … -1.5pt（質問 18）
- ・個人情報の保護 … -1.0pt（質問 15）
- ・教育方針の分かりやすい伝達 … -0.8pt（質問 1）

(6) 教員アンケート結果から

- ・平均肯定率：89.9%（21 設問、回答 43）

高数値（R7 肯定率 上位）

- 1.授業改善（学習状況を踏まえ工夫） … 100.0%（質問 7）
- 2.行事は魅力あるよう工夫・改善 … 100.0%（質問 9）
- 3.HP・メール配信を活用 … 97.7%（質問 18）
- 4.保護者相談にすぐ応える … 97.6%（質問 6）
- 5.教育活動の周知 … 97.6%（質問 12）

改善（前年比 + 上位）

- ・カウンセリングマインドでの生徒指導 … +17.7pt（質問 16）
- ・最新情報の把握・資質向上 … +17.3pt（質問 20）
- ・災害時の役割分担（迅速・適切対応） … +12.1pt（質問 11）

要改善（前年比 - 下位）

- ・相互授業見学の機会 … -8.8pt（質問 19）
- ・きめ細かな進路指導 … -5.0pt（質問 17）
- ・進路指導の適切さ … -4.6pt（質問 3）

(7) 全体を通して

- 1.生徒・教員・保護者における肯定的意見平均値は 87,3%～89.9%と高い値であった。特に権利教育や防災、個人情報における評価は高かった。
- 2.生徒のアンケート結果は全体的に肯定的回答割合が減少していた。
- 3.授業に関する項目では教員の授業改善の実感の高い一方で生徒からの「わかりやすい授業」「先生の指導が適切」の項目では数値が低下している。
- 4.保護者への連絡ツールがメールではなく、アプリなどの要望が多く、対策が必要。

【まとめ】

年々肯定的意見の割合が高くなっていたが、今年度は下がっている項目もたくさんあった。アンケートの回答形式を変更した（「わからない」の選択肢を作成した）ことも要因の一つであるかもしれない。記述からも、厳しい指導や理由の曖昧な指導や校則など「厳しさや理不尽」に対して敏感な生徒や保護者が多い。時代の流れとともに子どもへの親の関わり方が変化している中で、どのように生徒にアプローチしていくのか、環境やルール、連携方法も含めて整理する必要がある。

曖昧なルールや理由のない指導を見直し、教員と生徒が納得できる環境の中で教員が面に対応していくことが必要である。